

大田市立病院改革プランの点検・評価報告書
(平成24年度 実施状況)

平成26年1月

大田市立病院改革プラン評価委員会

目 次

1	はじめに	- 1
2	大田市立病院改革プラン取組状況	- 2
3	収支計画と決算の状況	- 7
4	大田市立病院改革プラン 評価・改善事項	- 8
5	大田市立病院改革プラン評価委員会委員名簿	-10

1 はじめに

「大田市立病院改革プラン」は、平成19年12月に総務省から、公立病院が自ら果たすべき役割を明確にした上で改革を進めるための指針として公立病院改革ガイドラインが示されたため、改革プラン策定委員会により、平成21年3月に策定されている。

この改革プランの対象期間は、平成21年度から平成25年度の5年間であり、毎年、点検・評価・公表を行うこととなっている。

今回、大田市立病院改革プラン評価委員会を設置し、改革プランの実施状況について点検・評価を行った。

大田市立病院から示された経営効率化計画（7項目）及び再編・ネットワーク化の8項目について、次の区分により項目別評価を行った。

区分	評価の内容
A	目標が達成されている
B	取組みはしているが、現状未達成である
C	目標が未達成である

1 大田市立病院改革プラン 取組状況

実行プラン		指標 (平成24年度)	平成24年度 取組み状況
1) 収入増 加・確 保対策	1 5F病棟の再開	平成22年度 再開	○看護師確保対策の実施 看護師の新規採用機会は1回増やし3回とした。 看護職員就職ガイダンス参加 H24.5.3 養成学校訪問 H24.6 新聞広告掲載 大田市立病院独自の看護職員就職ガイダンス開催 H24.8.11 7名参加 ガイダンス及び懇談会 ○看護職員修学資金貸与者が6名採用となり、制度の効果は表れたが、 看護師必要数には至っていない。
	2 回復期リハビリテーション病棟の設置	平成23年度 実施	○在宅につなげるための回復期リハ病棟について、新病院基本構想(平成29年度開設予定)において40床の設置が謳われた。現病院でのシミュレーション実施に向けての検討を開始した。
	3 亜急性期病床の設置	検討	○検討済み。
	4 外来化学療法の拡充	拡充	○4月より外科常勤医師1名赴任あり引き続き拡充に向け取り組む。 主に内科、外科、呼吸器外科、泌尿器科での実施。 ○レジメン件数について24年度に新規で18件作成し、51件となった。 (内科:7件、外科39件、その他5件)
	5 専門外来の設置	継続実施	○呼吸器内科を4月より開始。1,449件(24年度) ○総合診療科を4月より開始。396件(24年度) ○セカンドオピニオン外来を設置した。 ○妊婦を対象とした禁煙外来を設置した。
	6 クリティカルパスの適用数増加	85種類	○治療の計画書となる院内クリティカルパスの実績作成数は102種類となった。
	7 人間ドック・健康診断等の再開・拡充	400件	○人間ドックを毎週火曜日定員5人で実施。 実施件数:172件(24年度) ○検診検査を開始した。(25年10月末時点での延件数:64件)
	8 緩和ケア医療の充実	15名	○外科医の着任によりOP後の緩和治療、化学療法を伴う緩和ケアの提供が必要となり、11件のカンファレンスを実施 ○がん相談件数 91件 緩和ケア提供する入院45件 ○大田地域緩和ケアネットワークに参加し、市内開業医をはじめ関係機関との情報交換、研修などを通じて連携強化に努める。(年間4~5回)
	9 病院機能評価の更新	更新(Ver.)	○平成21年度認定済。 平成26年度新バージョン策定の検討開始。
	10 亜急性期入院医療管理料の取得	検討	○検討済み。
	11 回復期リハビリテーション病棟入院料の取得	平成23年度 取得	○在宅につなげるための回復期リハ病棟について、新病院基本構想(平成29年度開設予定)において40床の設置が謳われた。
	12 未収金の縮減	実施	○顧問弁護士に相談し、納付勧奨文書を送付し督促を強化した。74名 6,515,797円 25年3月末までの完納額 10名 130,956円収納。 分納中 23名(2,679,391円) ○システム構築に向け継続検討 ○嘱託職員を1名配置し、訪問督促に積極的に取り組んでいる。

実行プラン		指標 (平成24年度)	平成24年度 取組み状況
1) 収入増 加・確 保対策	13 栄養管理指導の算定件数増加	1,000件/年	○食事箋を確認し治療食の場合、指導依頼を出すよう管理栄養士が主治医に個別にお願いしている。 ○算定件数:2,142件(24年度)
	14 薬剤管理指導の算定件数増加	500件/年	○算定件数4,027件(24年度)
	15 CT検査件数の増加	10,900件/年	○24年度実施件数:7,316件(うち他院からの依頼件数769件)
	16 MRI検査件数の増加	3,640件/年	○24年度実施件数:2,913件(うち他院からの依頼件数677件)
	17 遠隔画像診断実施	医療機関数 2施設	○医療連携ITシステム構築事業の中で医療連携の一環として画像中継なども検討中。 ○24年度実施件数は、1,300件で地域医療支援の一旦を担っている。
	18 ホームページの充実	充実	○平成25年4月1日、ホームページを全面リニューアルした。
	19 広報誌(大田市立病院だより)の発行	発行 (4号/年)	○今年度未発行
	20 院内広報誌の充実	充実	○各チーム会が定期的に活動状況をニュースにまとめ報告。 ○大田市立病院年報を発行した。職員及び外部関係機関へ配布した。
	26 職員接遇研修実施	実施 (2回/年)	○H24年度未実施
27 患者満足度アンケート調査の実施	実施	○看護各部署において、患者様満足度調査を実施した。	
2) 経費削 減・抑 制対策	28 待遇改善	実施	○医(一)適用職員に入院受入業務手当を導入し、経過観察入院の件数増加を図った。 ○医(二)(三)(四)表適用職員について、昇格基準の見直しを図った。
	29 時間外勤務の要因分析と改善	分析、実施	○衛生委員会において健康管理の面から時間外勤務の分析を行い、改善を図り経費削減にも寄与している。
	30 委託費の適正化→業務の見直し及び委託の適正化	実施	○4年に1回、給食、医事、検査の各委託業務について総合評価を行い業者選定を行っている。 ○SPD業務の見直しを開始した。
	31 価格交渉、品目数の削減、在庫管理の適正化	検討、実施	○診療材料の品目数の削減については、更に削減してもらうよう物品管理委員会等において協力依頼をした。 薬、試薬、診療材料については、入札時に各業者と交渉を実施した。
	32 節水・節電の実施	実施	○水道使用量 H23年度(38,278㎡)→H24年度(37,678㎡) 600㎡減 ○電力使用量 H23年度(2,755,608kwh)→H24年度(2,769,624kwh) 14,016kwh増 ○月1回使用水量をチェックし、漏水の有無を確認する。 ○電力監視装置により、使用電力量のチェックを行っている。

実行プラン		指標 (平成24年度)	平成24年度 取組み状況
3) 人材の確保・育成	33 常勤医師の確保	確保数2人	○大田総合医育成センターに、内科系教授1名、外科系准教授1名が着任した。引き続き島根大学医学部と連携を図り、拡充に努める。 ○総合医療学講座、大田総合医育成センター情報の発信。(大田市に縁のある医師、過去に面談等を行った医師等に対して) ○島根大学医学部への派遣要請を行うとともに、島根県赤ひげバンクからの情報を中心にして面談、招聘の実施を行った。 ○市人会(東京、近畿、広島)への情報提供を行った。
	34 島根大学における地域枠医学生の確保	確保数2人	○地域枠推薦入試医療機関実習等の受け入れを行った ○大田高校進路講演会にて医療職の説明を行った H24.10.17(院長、看護部長、看護部、薬剤科、事務部) ○地域枠学生との交流の促進を図った H24.6.25 大田市主催による交流会への参加(市長、院長)
	35 女性医師の雇用促進	実施	○育児短時間勤務の取得(1件)
	36 院内保育所の充実	24時間保育の増	○利用者の定着 基本保育利用者:1月当たり28名(H24年度) 夜間保育利用者:1月当たり4名(H24年度)
	37 育児短時間勤務制度の実施	実施	○育児休業中の職員及び産休中の職員に制度の内容を周知
	38 修学資金貸与制度の利用促進	15名	・貸与継続 H23年度貸付5名(合計16名)→H24年度貸付4名、△3名卒業等(合計13名)
	39 近隣の看護師養成施設との連携強化	実施	○石見高等看護学院地域枠推薦学生の近況報告会 H24.8.6 3名(各学年1名、全員修学資金貸与者) ○石見高等看護学院学生の病院見学訪問 H24.8.16 5名(1年生のみ、内修学資金貸与者1名)
	40 研修・見学プログラムの実施	実施	○下記のとおり、研修等の場を開放して受け入れを行った。(島大27名、中学生12名、高校生24名) ・島根大学医学部地域医療病院実習(H24.5~11) ・高校生地域医療現場体験セミナー(H24.7) ・中学生地域医療現場体験セミナー(H24.8) ・一日看護体験(H24.8) ・中学生職場体験(H24.9) ・高校生インターンシップ(H24.10)
	41 指導医師の育成強化	実施	○外部機関での研修受講により感染管理認定看護師の育成を図った。
	42 医療に関するシンポジウム等の実施	実施	○地域医療シンポジウムを開催した。(県央保健所、大田市、大田市医師会との共催) H24.10.14 場所:大田市民センター 参加者:約110名 ○地域医療講演会を開催した。(大田市との共催) H25.2.5 場所:あすてらす 参加者:約200名
43 病院経営に関する研修	参加、実施	○全国自治体病院協議会島根県支部事務部門情報交換会に出席し、コスト削減、職員の経営参画に関する具体的手法等、他病院の取り組み状況等情報交換を実施。	

実行プラン		指標 (平成24年度)	平成24年度 取組み状況
4) 民間経営手法の導入	44 経営効率化計画の実行・評価	評価委員会による評価見直し	<ul style="list-style-type: none"> ○改革プラン評価委員会を開催した。(H24.11.1) ○経営健全化検討委員会を27回開催し、経営改善に向けて検討協議を行った ○統計分析について業者に委託し、診療報酬請求データを活用した経営分析の報告を毎月受けている。今後、報告データの種類を増やすと共に経営への活用をおこなっていく。 ○患者動向(患者数、平均在院日数等)を日々更新し、電子カルテ上に掲載し、周知を行っている。また、診療会議(月に1回開催)にて患者数、収益動向、査定状況などを報告し、改善に向けて検討を行っている。
	45 診療科別原価計算の導入	検討・実施	<ul style="list-style-type: none"> ○他院において富士通と原価計算システムの共同開発を行っており、完成後にそのシステムを参考に当院でも検討を行う。
	46 電子カルテを活用した経営分析	実施	<ul style="list-style-type: none"> ○統計分析について業者に委託し、診療報酬請求データを活用した経営分析の報告を毎月受けている。今後、報告データの種類を増やすと共に経営への活用をおこなっていく。 ○経営健全化検討委員会を27回開催し、経営改善に向けて検討協議を行った。
	47 レセプト請求精度の向上	査定率 0.19%	<ul style="list-style-type: none"> ○院内での点検・精査の強化についての継続実施。 ○24年度査定率0.50% ○査定状況を医師、担当部署に周知し情報提供を実施している。 ○会議において査定分析状況を周知し、査定防止に取り組んでいる。
5) 経営形態の見直し	48 地方公営企業法全部適用の導入	導入	<ul style="list-style-type: none"> ○導入の意志決定をした。
6) その他	49 救急医療体制の維持	維持	<ul style="list-style-type: none"> ○救急告示指定の再取得
	50 災害拠点病院としての機能維持	維持	<ul style="list-style-type: none"> ○平成24年度島根県原子力防災訓練に参加(H25.1.26) 緊急時モニタリング訓練・緊急被ばく医療活動訓練 ○DMAT参加の検討 ○衛星電話を導入した。
	51 介護予防通所リハビリテーションの提供	40件/月	<ul style="list-style-type: none"> ○通所リハビリテーションの実績35.3件/月(24年度) ○予防通所リハビリテーションの実績7.9件/月(24年度)
	52 介護予防訪問リハビリテーションの提供	160件/月	<ul style="list-style-type: none"> ○訪問リハビリテーションの実績126.0件/月(24年度) ○予防訪問リハビリテーションの実績11.0件/月(24年度)
	53 地域連携担当部署の設置	検討	<ul style="list-style-type: none"> ○地域医療連携室での相談実績(24年度:881件) ○4月に院内ボランティア「カーネーション」が発足した。 毎週月曜日と金曜日に2名ずつ活動 25年3月末現在 ボランティア登録者数19名
	54 医師会等との連携強化	実施	<ul style="list-style-type: none"> ○医師会役員会への参加
	55 地域連携クテカルパスの導入	導入	<ul style="list-style-type: none"> ○がん連携指導料の施設基準を取得し、島根大学病院及び県立中央病院との間で連携パスに基づく治療を実施している。 ○24年度対象者数:胃がんパス1名、乳がんパス7名
	56 病診連携登録医との勉強会の促進	実施	<ul style="list-style-type: none"> ○大田市立病院医局セミナーを8回開催した(うち公開はなし)(24年度) ○県央保健所主催による医療連携ITシステムに関する圏域勉強会に近隣の開業医と共に参加した。(H24.10) ○大田市医師会学術講演会へ参加した。
	57 健康講座・予防教室の開催	実施	<ul style="list-style-type: none"> ○10月から「出前講座」を開始し、地域の団体を訪問して健康や医療に関心を持っていただくための講演やリハビリ教室などを行った。(24年度実績:9件) ○看護部による「ふれあい講座」を継続して開催している。(24年度実施回数:9回)

実行プラン		指標 (平成24年度)	平成24年度 取組み状況
	58 「診療科案内」小冊子の作成	作成	○平成24年8月発行
	59 糖尿病教室の開催	実施	○教育入院の継続実施。(24年度実施人数:6人) ○9月から糖尿病教室(奇数月の第4水曜日)を開始した。 (24年度参加者:19名)
	60 新病院の整備に向けた検討	検討	○市とともに新病院の方向性を示した「新大田市立病院建設基本構想」を策定するとともに病院において各部門の運営方針や施設条件を示した「部門別基本方針」を策定。
7)収支計画	61 収支計画	実施	○収支は以前として赤字が続いているが改善傾向にある。
8)再編・ネットワーク	62 再編・ネットワーク化への取り組み	実施	○がん連携パス(鳥根大学病院、県立中央病院との連携)の実施。 24年度対象者数:胃がんパス1名、乳がんパス7名 ○出雲地域の連携室看護師とのネットワーク化を図る。 ○鳥根県医療情報ITシステム(まめネット)の導入に向けて大田市医師会と共に勉強会に参加した。 ○総務省情報連携活用基盤構築の実証実験を行った。

収支計画と決算の状況

1) 経営指標 (単位:人,円,%)

区分	19年度			20年度			21年度			22年度			23年度			24年度			25年度		
	決算	計画①	決算②	差異(②-①)	計画③	決算④	差異(④-③)	計画⑤	決算⑥	差異(⑥-⑤)	計画⑦	決算⑧	差異(⑧-⑦)	計画⑨	決算⑩	差異(⑩-⑨)	計画⑪	決算⑫	差異(⑫-⑪)		
1日平均患者数(入院)	242.0	210.0	200.4	△ 25.7	253.9	149.1	△ 104.8	272.8	161.6	△ 111.2	288.1	174.5	△ 113.6	288.1	173.0	△ 115.1	288.1	173.0	△ 115.1		
1日平均患者数(外来)	592.2	535.1	512.9	△ 51.3	592.0	409.3	△ 172.7	592.0	408.0	△ 184.0	614.0	391.9	△ 222.1	614.0	396.5	△ 217.5	614.0	396.5	△ 217.5		
診療単価(入院)	29,649	30,200	29,709	△ 812	30,205	30,811	606	31,032	32,022	990	31,342	32,332	990	31,342	34,153	2,811	31,342	34,153	2,811		
診療単価(外来)	6,308	6,481	6,554	61	6,572	6,957	385	6,636	7,320	684	6,816	8,136	1,320	6,816	7,875	1,059	6,816	7,875	1,059		
病床利用率(稼働病床)	71.4%	61.9%	59.1%	△ 7.6%	74.9%	44.0%	△ 30.9%	80.5%	47.7%	△ 32.8%	85.0%	51.5%	△ 33.5%	85.0%	51.0%	△ 34.0%	85.0%	51.0%	△ 34.0%		
職員給与比率	48.8%	54.6%	60.2%	6.3%	52.4%	70.4%	18.0%	49.1%	64.2%	15.1%	47.4%	57.4%	10.0%	47.4%	65.3%	17.9%	47.4%	65.3%	17.9%		
経常収支比率	93.5%	87.0%	83.7%	△ 5.7%	93.0%	75.9%	△ 17.1%	96.4%	82.8%	△ 13.6%	99.5%	86.9%	△ 12.6%	99.5%	87.3%	△ 12.9%	99.5%	87.3%	△ 12.9%		
一般会計繰入金比率	6.3%	10.6%	14.0%	2.1%	11.0%	15.6%	4.6%	8.0%	16.8%	8.8%	7.6%	16.7%	9.1%	7.5%	16.8%	9.3%	7.5%	16.8%	9.3%		

2) 収支計画(収益的収支) (単位:百万円)

区分	19年度			20年度			21年度			22年度			23年度			24年度			25年度		
	決算	計画①	決算②	差異(②-①)	計画③	決算④	差異(④-③)	計画⑤	決算⑥	差異(⑥-⑤)	計画⑦	決算⑧	差異(⑧-⑦)	計画⑨	決算⑩	差異(⑩-⑨)	計画⑪	決算⑫	差異(⑫-⑪)		
入院収益	2,626	2,314	2,174	△ 345	2,799	1,677	△ 1,122	3,098	1,894	△ 1,204	3,296	2,059	△ 1,237	3,296	2,157	△ 1,139	3,296	2,157	△ 1,139		
外来収益	915	843	813	△ 74	929	692	△ 237	959	729	△ 230	1,025	781	△ 244	1,021	762	△ 259	1,021	762	△ 259		
一般会計負担金	236	362	459	20	443	408	△ 35	351	486	135	350	526	176	348	546	198	348	546	198		
その他	140	123	103	22	119	117	△ 2	119	125	6	120	133	13	119	117	△ 2	119	117	△ 2		
計 A	3,917	3,642	3,571	△ 377	4,290	2,894	△ 1,396	4,527	3,234	△ 1,293	4,791	3,499	△ 1,292	4,784	3,582	△ 1,202	4,784	3,582	△ 1,202		
給与費	1,844	1,861	1,977	△ 15	2,115	1,836	△ 279	2,143	1,859	△ 284	2,194	1,811	△ 383	2,200	2,121	△ 79	2,200	2,121	△ 79		
材料費	828	726	678	△ 105	892	480	△ 412	967	538	△ 429	1,028	588	△ 440	1,027	667	△ 360	1,027	667	△ 360		
経費	916	1,021	1,028	△ 31	1,088	996	△ 92	1,086	1,027	△ 59	1,072	1,132	60	1,082	928	△ 154	1,082	928	△ 154		
減価償却費	394	405	425	△ 1	369	363	△ 6	350	347	△ 3	358	355	△ 3	300	304	4	300	304	4		
その他	209	173	157	0	147	138	△ 9	149	134	△ 15	165	141	△ 24	159	146	△ 13	159	146	△ 13		
計 B	4,191	4,186	4,417	△ 152	4,611	3,813	△ 798	4,695	3,905	△ 790	4,817	4,027	△ 790	4,768	4,166	△ 602	4,768	4,166	△ 602		
差引 C (A-B)	△ 274	△ 544	△ 694	△ 225	△ 321	△ 919	△ 598	△ 168	△ 671	△ 503	△ 26	△ 528	△ 502	△ 16	△ 584	△ 600	△ 16	△ 584	△ 600		

3) 収支計画(資本的収支) (単位:百万円)

区分	19年度			20年度			21年度			22年度			23年度			24年度			25年度		
	決算	計画①	決算②	差異(②-①)	計画③	決算④	差異(④-③)	計画⑤	決算⑥	差異(⑥-⑤)	計画⑦	決算⑧	差異(⑧-⑦)	計画⑨	決算⑩	差異(⑩-⑨)	計画⑪	決算⑫	差異(⑫-⑪)		
企業債	282	218	95	△ 23	175	145	△ 30	175	143	△ 32	115	147	32	60	396	336	60	396	336		
出資金																					
一般会計負担金	122	214	237	3	243	247	4	251	242	△ 9	182	156	△ 26	174	214	40	174	214	40		
その他	26	18	13	13	0	30	30	0	6	6	0	19	19	0	104	104	0	104	104		
計 A	430	450	345	△ 7	418	422	4	426	391	△ 35	297	322	25	234	714	480	234	714	480		
建設整備費	40	34	10	2	25	0	△ 25	25	0	△ 25	15	0	△ 15	10	224	214	10	224	214		
器械備品整備費	253	195	89	△ 33	150	175	25	150	166	6	100	163	63	50	358	308	50	358	308		
企業債償還金等	203	386	417	0	428	428	0	442	424	△ 18	289	254	△ 35	271	224	△ 47	271	224	△ 47		
長期貸付金		2	9	3	9	16	7	9	14	5	9	10	1	9	11	2	9	11	2		
その他									1	1		1	1		3	3		3	3		
計 B	496	617	525	△ 28	612	619	7	626	595	△ 31	413	428	15	340	820	480	340	820	480		
差引 C (A-B)	△ 66	△ 167	△ 180	21	△ 194	△ 197	△ 3	△ 200	△ 204	△ 4	△ 116	△ 106	10	△ 106	△ 106	0	△ 106	△ 106	0		

大田市立病院改革プラン 個別評価事項

項目	評価・改善事項	
1) 収入増加・確保対策	<ul style="list-style-type: none"> ・回復期リハビリテーション病棟の設置に向けての検討を開始したことについては、評価する。更なる努力を期待する。 ・未収金の縮減について、納付勧奨文書、嘱託職員配置など努力について評価する。未収金システムの構築とあるが、システム構築によって未収金が縮減されるものではない。縮減に向けて更なる努力を期待する。 ・接遇研修は患者サービスの面で大切な部分と考えるが2年間なされていないことについては、残念に思う。研修の実施にあたっては、年度当初が効果的だと思われる。 ・病床利用率は目標に届いていないが、医師不足の状況下において入院患者数及び診療単価が伸びてきていることには期待できると思う。 ・ホームページのリニューアルは図られたが、病院広報誌が発行されていない。他病院の状況も調査し、取り組んでもらいたい。(25年度において病院広報誌発行済) ・患者満足度調査に関して、結果を院内掲示、ホームページで開示するなど実施方法の検討が必要と考える。 ・改革プランの取り組み状況に関し、どのような努力・改善が図られたか把握しづらい。原因分析を踏まえての整理が必要。 ・経営改革に当たっては、専門部会の設置など大胆な方策が必要と考える。 ・CT、MRIの件数は、指標に対して下回っている。更なる努力を期待する。 	B
2) 経費削減・抑制対策	<ul style="list-style-type: none"> ・待遇改善は給与・手当の増加検討はされているが、無駄を無くすという面では、時間外の部分は評価するが、一般的に努力の跡が見られない。 ・価格交渉による購入費削減については評価する。 ・在庫管理の適正化に向けて具体的な数値目標を立て努力されたい。 ・全職員が共通認識を持ち、一体的に取り組む必要がある。また分析・評価の取り組みが不十分であると考える。他病院の情報収集など努力されたい。 ・委託業務の適正化は重要と考える。毎年、何らかの成果が出るよう一層の努力を期待する。 	B
3) 人材の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・大田総合医育成センターを通して2名の医師が確保されたことは、評価する。更に整形外科医等の確保に向けて引き続き努力されたい。 ・医学生実習の受け入れは、評価する。地域卒学生、看護学生には絶えず情報発信をして欲しい。 ・新病院建設も控えており、今後、職員が働きやすい環境づくりなど離職防止対策が必要である。 ・若手医師育成のため大田市医師会もできる限りの協力をしたい。 	B
4) 民間経営手法の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・経営健全化検討委員会にて、検討されていることには評価する。ただ、検討されたことが病院経営にどう生かされたか何らかの資料が必要と考える。 ・診療科別原価計算導入について、病院独自で作り上げていく努力が必要で前向きに取り組んで欲しい。 ・経営分析専任者を配置しているが、成果、分析内容及び反省点なども開示して欲しい。また、請求から収入まで一連の作業チェックが必要ではないか。 ・診療会議で患者数、診療点数などの報告がされているが、それが改善を検討する場になっているか。経営健全化検討委員会など別の場での検討が良いのではないか。 ・電子カルテでの分析については、業者まかせではなく経営企画課と医事室が連携して行うべきと考える。 ・民間の経営感覚の醸成が必要である。 	B
5) 経営形態の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法全部適用に向けて意志決定されたことを評価する。全職員が一致して対応されるよう要望する。また、このことでの経営改革も期待する。 	B

項目	評価・改善事項	
6)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・救急告示再取得は地域にとっても朗報であり評価する。 ・訪問看護ステーションの取り組みは評価できる。 ・院内ボランティアの成果、出前講座での情報発信など評価する。 ・大田市医師会との連携について、改善の努力を評価する。なお、一層の尽力を期待する。 ・新病院建設に併せて、敷地内に保健・医療・福祉に関する連携拠点施設が整備されるとのこと。医師会も積極的に地域連携に関わっていききたいし、新病院が地域住民にとって良い病院となるよう、病院としても真摯に取り組んで欲しい。 ・地域連携クリティカルパスは、新設予定の回復期リハビリテーション病棟にも有効であり、更なる活用を期待する。 	B
7)収支計画	<ul style="list-style-type: none"> ・赤字額は改善傾向にはあるが予断を許す状況にはなく、引き続き改善に向けて努力されたい。 ・新病院建設を控え、開院1年前(平成27年度)での決算目標をどうするか、計画を持つべきである。 ・職員は、きびしい経営環境であることを認識し、取り組んで欲しい。取りわけ、病院経営の根幹である入院患者数の確保、病床利用率の向上に努力されたい。 ・整形外科医師の確保と休診のない診療体制の構築に更なる努力を期待する。 	B
8)再編・ネットワーク化	<ul style="list-style-type: none"> ・医療連携ITシステム(まめネット)を通じた連携体制が構築されるが、医療連携に積極的に役立て、医師会との連携推進も図って欲しい。 ・がん連携パスの実施はがん患者には朗報であり評価する。 ・ネットワーク化は新病院建設までに戦略的に取り組むべきであり、病院としての姿勢を示すべきである。 	B
9)その他	<ul style="list-style-type: none"> ・改革プランを進めていることには評価するが、成果の部分は気になる。医師派遣は、島根大学への依存が大きいが現実問題として厳しい面があり、そういう意味で大田市立病院独自の改革プランがどこまでの成果が得られるかがポイントである。 ・大田圏域における疾病の特徴に対して、行政、病院、医師会の三者が連携して取り組んで欲しい。 ・奉仕の精神を大事にし、院長をはじめ職員が一致団結して赤字解消に努力されることを期待する。 ・新病院の建設、公営企業法全部適用などが行われるが、全職員が病院経営健全化のため自らの課題として努力されたい。 ・接遇、満足度調査はサービス向上策の最重要課題であり怠らないこと。また、患者からの指摘などにも真摯に耳を傾け愛される病院になって欲しい。 	

大田市立病院改革プラン評価委員会名簿

(敬称略)

所属	氏名	備考
大田市議会	内藤 芳秀	
大田市議会	小林 太	
大田市医師会	根宜 祐平	副委員長
島根県県央保健所	長崎 みゆき	
大田市地域医療支援対策協議会	森山 護	
大田市社会福祉協議会	岩谷 博	委員長
有識者	渋谷 次夫	
大田市	松村 浩	